

特別調査「中小企業における“本業”の現状と今後について」

問1. 貴社の業歴について、該当するものを以下の1~5より1つお答えください。また、貴社の売上規模（年商）について、該当するものを以下の6~10より1つお答えください。

(単位：件・%)

	業 歴					売 上 規 模				
	1. 10年未満	2. 10年以上 30年未満	3. 30年以上 50年未満	4. 50年以上 100年未満	5. 100年以上	6. 1,000万 円未満	7. 1,000万以 上5,000万 円未満	8. 5,000万 円以上1億 円未満	9. 1億円以 上5億円未 満	10. 5億円以 上
合計(構成比)	1.2	16.1	49.4	29.9	3.4	4.0	32.2	17.2	36.8	9.8
合計件数	2	28	86	52	6	7	56	30	64	17
製 造	0	7	13	17	2	1	8	4	18	8
建 設	0	8	26	8	1	0	8	11	19	5
卸 売	0	1	3	3	0	0	1	0	3	3
小 売	1	9	21	20	3	1	26	11	15	1
サービス	1	3	23	4	0	5	13	4	9	0

*調査対象企業の業歴については、「30年以上50年未満」の階層が49.4%と最も多かった。全体としては、業歴30年以上の企業が82.7%を占めた。また、業歴100年以上の企業も3.4%確認された。売上規模（年商）については「1億円以上の企業が、46.6%となり、売上1億円未満の企業は53.4%となった。

問2. 貴社では、創業時と現在を比較して、“本業”（売上額の最大構成事業）に変化はありましたか。該当するものを以下の1~3より1つお答えください。また、現在の貴社の本業に係る市場の将来性（今後5~10年程度の市場の推移見通し）についてどのように認識していますか。該当するものを以下の4~8より1つお答えください。

(単位：件・%)

	本 業 の 変 化			市 場 の 将 来 性				
	1. 本業に変 化はない	2. 本業が変化し た(主要取扱商 品・サービスの 変化)	3. 本業が変化した(業種換)	4. 拡大が見込ま れる	5. やや拡大する 見込み	6. 横ばい見込み (変わらない)	7. やや縮小する 見込み	8. 縮小が見込ま れる
合計(構成比)	71.2	23.6	5.2	1.1	8.0	30.5	25.9	34.5
合計件数	124	41	9	2	14	53	45	60
製 造	28	9	2	0	6	16	10	7
建 設	38	4	1	1	4	16	6	16
卸 売	5	1	1	0	0	1	2	4
小 売	35	15	4	1	2	12	16	23
サービス	18	12	1	0	2	8	11	10

*事業開始以来の“本業”（売上額の最大構成事業）の変化の状況については、71.2%の企業が「本業に変化はない」と回答した。また、「主な取扱商品・サービスが変化した」との回答は23.6%、「業種転換した」とする回答は、5.2%となった。市場の将来性については、「縮小見込みの回答」（60.4%）が「拡大見込み」との回答（9.1%）を大きく上回った。

問3. 貴社では、今後どのような事業展開を実施・検討する事が想定されますか。該当するものを以下の1~9より最大3つまでお答えください。なお、特にないという方は0を選択下さい。

(複数回答) (単位: 件・%)

	1. 本業の国内取引先振興 (生産・販売・調達等)	2. 本業での新商品・サービスの展開	3. 本業での海外展開 (生産・販売・調達等)	4. 副業 (既存の別事業) の拡大	5. 新規事業への参入 (多角化)	6. 本業の縮小	7. 副業 (既存の別事業) の縮小	8. 業種換	9. その他	0. 特にない
合計 (構成比)	18.4	18.4	1.7	4.0	11.5	14.4	2.3	3.4	6.9	47.1
合計件数	32	32	3	7	20	25	4	6	12	82
製造	14	14	1	1	2	5	0	0	1	13
建設	11	2	0	2	3	7	1	1	3	24
卸売	0	0	0	1	3	1	0	0	0	4
小売	4	9	0	2	8	8	2	4	5	24
サービス	3	7	2	1	4	4	1	1	3	17

* 今後の実施・検討が想定される事業展開については、「本業の国内取引先振興」と、「本業での新商品・サービス展開」との回答割合がともに18.4%を占めた。また、「新規事業への参入」11.5%と「副業 (既存の別事業) の拡大」4.0%と回答しており、本業以外の事業基盤拡充に感心を示す企業も見られた。

問4. 昨今の円安傾向によって、貴社の“本業”はどのような影響がありますか。該当するものを以下の1~4より1つお答えください。また、TPP (環太平洋戦略的経済連携協定) への参加が決まった場合、貴社の“本業”にはどのような影響があると考えられますか。該当するものを以下の5から8より1つお答えください。

(単位: 件・%)

	円 安 の 影 響				T P P の 影 響			
	1. 良い影響がある	2. どちらともいえない	3. 悪い影響がある	4. 影響はない	5. 良い影響がある	6. どちらともいえない	7. 悪い影響がある	8. 影響はない
合計 (構成比)	1.1	41.4	25.3	32.2	2.3	53.5	15.5	28.7
合計件数	2	72	44	56	4	93	27	50
製造	1	17	10	11	2	21	10	6
建設	0	18	12	13	1	26	2	14
卸売	1	4	1	1	0	2	1	4
小売	0	19	15	20	1	25	11	17
サービス	0	14	6	11	0	19	3	9

* 円安の“本業”への影響については、25.3%の企業が「悪い影響がある」と回答し、「良い影響がある (1.1%) 」との回答を上回った。また「どちらともいえない」との回答が41.4%となり自社への影響を明確に把握できていない結果となった。TPPの“本業”への影響については、2.3%の企業が「良い影響がある」、15.5%の企業が「悪い影響がある」と回答した。またどちらともいえないとの回答が53.5%となり、多くの企業ではTPP参加による影響を明確に把握できていないことが明らかになった。

問5. 貴社では、将来的な事業（経営）の引継ぎに際して、どのような選択肢を想定・検討していますか。該当するものを以下の1~7より最大3つまでお答えください。

（単位：件・%）

	1. 子供（嫁 婿を含む） への承認	2. 兄弟姉 妹・その他 の親族への 承継	3. 非同族の 役員・従業 員への承継	4. 非同族の 社外人材へ の承認	5. 他社への 譲渡（M& A等）	6. 廃業（事 業の清算）	7. その他
合計（構成比）	60.3	14.4	16.7	6.9	9.2	28.2	5.7
合計件数	105	25	29	12	16	49	10
製 造	24	6	8	1	2	7	2
建 設	28	8	5	4	5	13	3
卸 売	3	1	1	0	0	3	0
小 売	33	4	6	2	8	15	3
サービ ス	17	6	9	5	1	11	2

* 将来の事業引継ぎに際して想定・検討する選択肢については、「子供（娘婿含む）への承継」との回答割合が60.3%と他の選択肢を大きく上回った。多くの企業が、世襲による事業引継ぎを想定している。一方、「非同族の役員・従業員への承継」も16.7%で選択肢の一つを占めている。また、「廃業（事業の清算）」との回答も28.2%と相対的に多かった。

～調査員のコメントから～

- 主力の豆腐以外の商品の開発を続け、販路拡大等の努力をしている。 (製造業)
- 生コンの製造は、今後公共工事の増加見込まれ、改善されることが期待される。 (製造業)
- 今期は、昆布の品質が心配される。 (製造業)
- 個人住宅の新築依頼は減少している。 (建設業)
- 配電線工事等の稼働は順調、売上収益とも増加している。 (建設業)
- 地区内の小売業者への納入減少、在庫過剰気味。 (卸売業)
- 春定置始まり、売上・収益ともに上昇した。 (卸売業)
- 事務用品は、大手通販会社やネットの利用者が増え、売上は減少している。 (小売業)
- コンビニ店は競合店との競争激しく、売上は減少傾向にある。 (小売業)
- 飼料の販売については、円安による仕入れ価格の上昇が懸念材料。 (小売業)
- 葬祭業は競合店多く、宣伝広告等を強化している。 (サービス業)
- 旅館業は、前浜の漁不足で地元食材（ツブ、ウニ）の確保に苦しんだ。 (サービス業)